

NPO法人赤城自然塾活動報告会

「広域連携による環境教育プログラムづくりと実践」3年間の軌跡と今後の展開

2011/4/30 於:サンデンフォレスト・森の教室

報 告 書



9:00 自然観察会受付開始
 10:00 自然観察会 森の教室集合・フォレスト散策
 11:45 観察会終了、昼食



11:30 レセプションプログラム受付開始
 12:45 赤城の自然 映像による紹介 植物、昆虫(蝶)

開会式 司会者挨拶、趣旨説明

「私たち大人は何をしてきたか」:1992年リオサミット「セヴァン・カリス = スズキの訴え」当時12歳
 主催者挨拶・理事長就任挨拶 天田 清之助 NPO法人赤城自然塾理事長
 新理事長へのバトンタッチとエール 橋川 廣司 前NPO法人赤城自然塾理事長
 来賓挨拶 佐藤 博之 前橋市教育長

参加者数 145名(内報道関係1名)



プログラム

| | | | |
|-------|-------------------|--|--|
| 13:25 | ビデオレターによるメッセージ紹介 | 矢島 稔 中島 恵理 | ぐんま昆虫の森園長 環境省環境教育推進室長補佐 |
| 13:35 | 来賓紹介/赤城自然塾会員紹介 8名 | | 来賓は司会者より紹介し立礼 会員紹介は全員立礼 |
| 13:45 | DVDによる会員活動紹介 24団体 | | 映像投影 |
| 14:00 | 主な実施事業の紹介 | ・南橋中学校生徒の赤城体験 ・赤城山環境ガイドボランティア養成講座 ・水源の森づくりを通した上下流域市民の交流(シブヤ大学と地元市民による森づくり) | 吉田龍司 栗原 久 中西 麻里子 NPO法人群馬県自然保護連盟事務局長 東京福祉大学教授、赤城自然塾会員 NPO法人シブヤ大学会員、ジョウモウ大学設立準備委員 |
| 14:25 | 休 憩 (15分) | | |

| | | | | |
|-------|--------|--------------------------|-------|--|
| 14:40 | ビジョン採択 | 「NPO法人赤城自然塾の活動ビジョン発表と採択」 | 小林善紀 | NPO法人赤城自然塾事務局長 赤城クリン・グリーン・エコネットワーク事務局長 |
| 15:00 | 評価・講演 | 「広域連携の在り方と赤城自然塾への期待」 | 西園 大実 | 群馬大学教育学部教授、NPO法人赤城自然塾指導者 |
| 15:15 | 宣言 | 現職教員による赤城自然塾へのエールと決意 | 田口 節 | 高崎市立中川小学校教諭 平成22年度長期社会体験研修員 |
| | 閉会の挨拶 | | 下城 茂夫 | NPO法人赤城自然塾副理事長 |
| 15:25 | 閉会・解散 | | | |



4月の末らしい穏やかな日に恵まれ、新緑の中に満開の山桜が存在を誇っておりました。このような中、9時から開始した自然観察会の受付は67名となり、森の教室でのサンデンフォレストの説明の後、吉田氏、篠原氏、岡田氏の指導の下、3班に分かれてどんぐり広場、西ピオトープ、リサイクルセンターへ向けて出発しました。リサイクルセンターからはマイクロバスにて森の教室へ11:45帰還。

テント3張りとコーヒーサーバーを野外に設置し、休憩所としての機能が発揮でき、会場の狭さが補完できました。98名の注文を受けたとんとん広場特製弁当は温かい状態で、好評でした。

レセプションプログラム開始の12:45分には145名の参加者を得て、最初に東日本大震災の被害者への全員による黙祷から始まり、プログラムに従い進行し、ビジョン採択の時間がオーバーしたが、西園先生の調整が入り、終りは10分程度のオーバーで終了しました。

矢島稔氏、中島恵理氏のビデオメッセージでは赤城自然塾の果たすべき役割について語って頂き、また、DVDによる24団体の活動紹介と吉田氏、栗原氏、中西氏による実践報告により、参加者の理解が深まったと思われます。

配布資料と画面により活動ビジョンが提案され、満場一致にて採択されました。西園先生の講評では赤城自然塾の活動はタイミング的に的を得ており、外部評価のとおり環境教育実践、普及のモデルに成り得るとの発言がありました。

現職教員による宣言では田口さんから、教育現場で赤城自然塾と連携し、環境に配慮した人材育成に力を注ぎたい旨、宣言して頂きました。発表者の田口さん、中西さんが参加者の平均年齢を押し上げて頂いたが、この点、これからの課題として捉え、学生、インストラクター等への活動参加・協力を、更に推し進めていきたい。